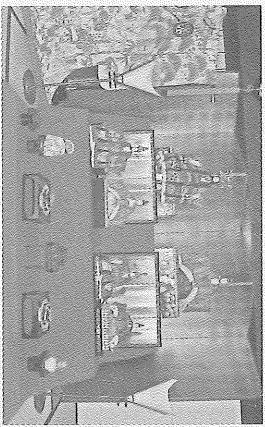


ひな文化まつり

民家50軒に江戸時代後期から現在までの郷、文化作品、民具を展示

ひな月遅れの雛まつり

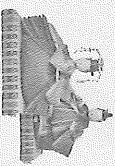
旧暦の4月3日前の土、日曜日に、月遅れで開く雛まつりで、民家など50戸に、江戸時代後期から現在までの内装雑や敷飾りなどとともに、文化協会会員の振歌、俳句等の芸術作品、民具等を飾り、陣屋通りを青竹に咲の花、菜の花、柳などで、山里の春を演出しています。また、江戸時代末期の「奥入れ道中」を再現した行列も華やかです。



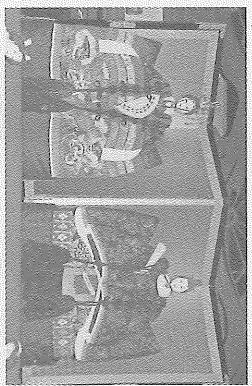
音野邸に展示の古今雛

中津井の歴史

古くから郷中の國と美作の国を結ぶ往来の中繼地として栄え、延享元年(1744年)備中松山藩主・石川主膳頭惣慶が伊勢龜山藩主として参る際に、中津井、有漢等の1万石を龜山藩の飛地領にし、明治時代まで中津井に陣屋を置いて治め、市などの商工業などを奨励したため、この陣屋通りを中心により賑わうようになったといわれております。「ぶり市」は今に続いています。



享保雛

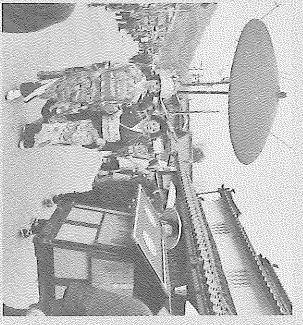


仙源寺に展示の押絵雛

奥入れ道中



陣屋町を進む奥入れ道中



江戸時代の衣装が、現在もそのまま残されています。また、花嫁が馬に揃られて奥入れ



花嫁が馬に揃られて奥入れ

第11回 備中中津井 翁住の文化まつり

平成24年3月24日(土)・25日(日)

奥入れ道中 協同開催
PM1:30~(雨天中止)

会場 なかつい陣屋一帯(岡山県真庭市下中津井)

中津井やまびこ会
【連絡先】なかつい陣屋 0866-52-5001

真庭市文化協会北房支部
・山陽新聞社・読売新聞岡山支局・真庭タイムズ社

助成

財團法人 福武文化振興財團

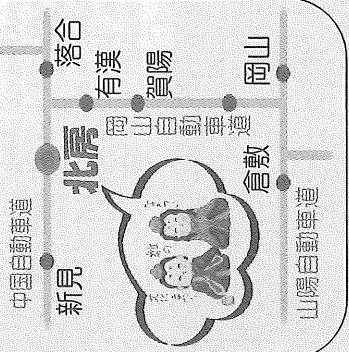
奥入れ道中
午後1時30分から出発

中津井陣の文化まつり会場案内図

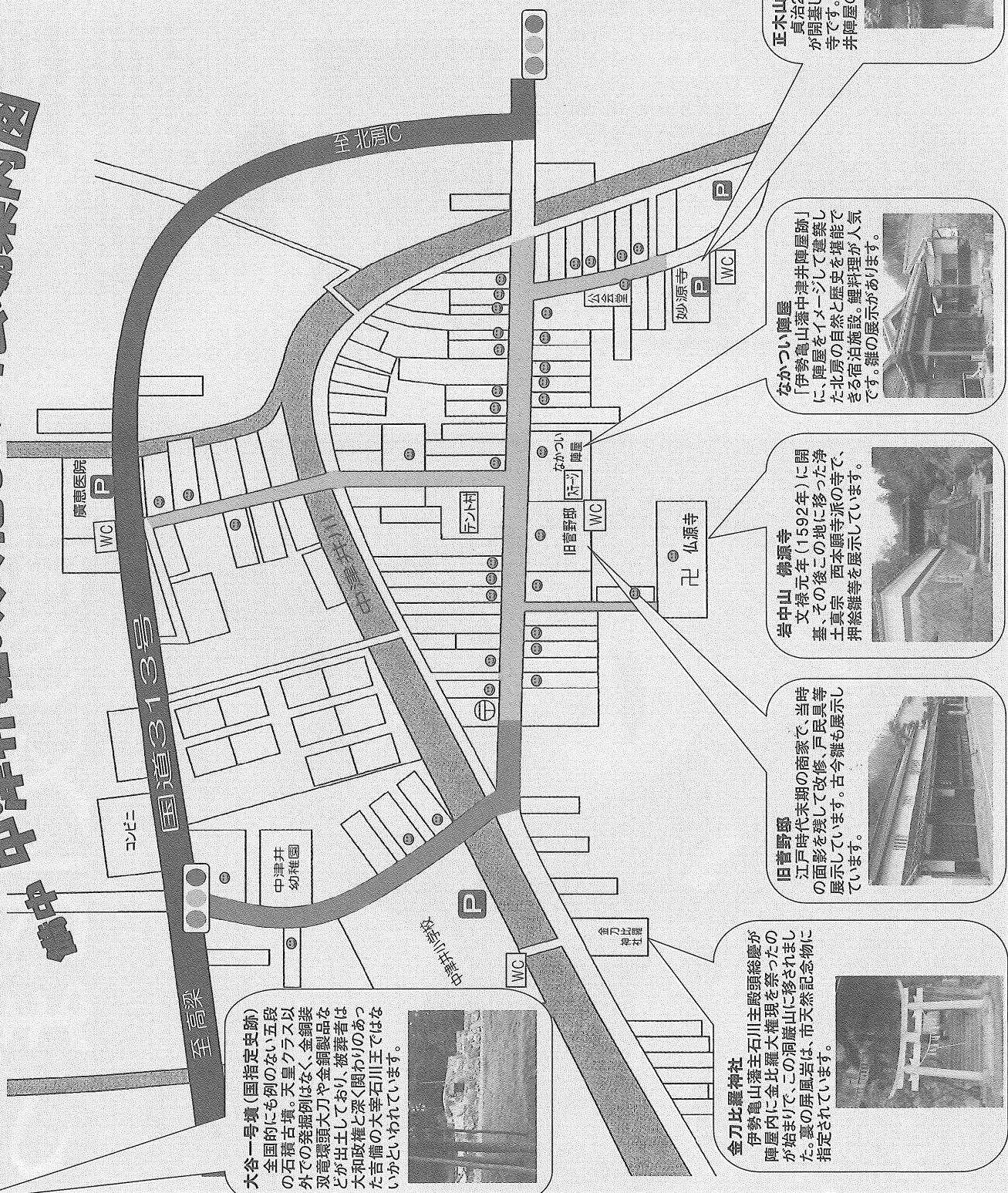
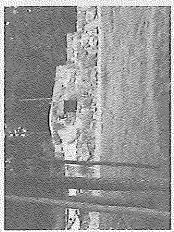
中国道北房IC下車

国道313号線を高梁方面へ10分

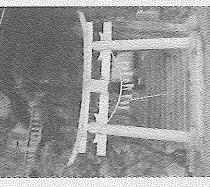
交通のご案内



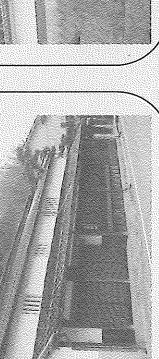
大谷一號墳(国指定史跡)
全国的にも例のない五段の石積古墳。天皇クラス以外での発掘例はない、金銅装具等が出土しており、被葬者は大和政權と深く関わるのではないかといわれています。



金刀比羅神社
伊勢龜山藩主石川主殿頭絶が陣屋内に金比羅大権現を祭ったのが始まりで、この辰巌山に移されました。裏の屋風呂は、市天然記念物に指定されています。



旧菅野邸
江戸時代末期の商家で、当時の面影を残して改修、戸民具等展示しています。古今雑も展示しています。



なかつい陣屋
「伊勢龜山藩中津井陣屋跡」に、陣屋をイメージして建築した北房の自然と歴史を感じさせる宿泊施設。館料理が人気です。館の展示があります。



正木山 妙源寺
貞治2年(1363年)に大覚大僧正が開基したといわれている日蓮宗の寺です。山門は旧伊勢龜山藩中津井陣屋の門を移築しています。

